

環境経営レポート

作成: 2023年12月1日



株式会社 アミイダ
第36期(2022年9月～2023年8月)

認証・登録 番号 : 0010421

認証・登録日 : 2015年 1月 28日

目次

- 1. 事業概要 ①
- 2. 環境方針 ②
- 3. エコアクション21組織図 ③
- 4. 環境負荷への自己チェック ④
- 5. 2019年度環境目標とその実績、次年度への取り組み ⑤
- 6. 環境関連法規等の遵守状況 ⑥
- 7. 環境活動の取り組み計画と評価 ⑦
- 8. 代表者による全体評価と見直しの結果 ⑧

①. 事業活動の概要

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 アミイダ

代表取締役 阿久戸 洋希

2. 所在地

〒373-0806

群馬県太田市龍舞町 4 6 4 5

連絡先

Tel 0276-30-3570

Fax 0276-30-3575

3. 環境管理責任者

阿久戸 澄雄

4. 事業の内容

自動車、電機機器、建設機械、産業機械、及び金型等に
使用する金属・非金属の精密研削加工

5. 事業の規模

売上高 1億7千万円 (第36期実績)

従業員 15人 (第36期実績)

床面積 837.77 (第36期実績)

②.環境方針

【基本理念】

株式会社アミイダは事業活動において環境に対するリスクがあることを自覚するとともに、環境経営システムを通し、全社員が地球環境に目を向けた環境保全活動を推進し、常に継続的な改善に努めます。

【基本方針】

- 1・ 株式会社アミイダは環境保全活動を進める上で、以下の項目を重要課題として取り組みます。
 - ① 電力、化石燃料などの使用量を減らし、温室効果ガス排出量の削減
 - ② 事業活動の中で廃棄物発生抑制と再使用、そして適切な処理
 - ③ 水使用量を減らすための節水活動と廃水量の低減
- 2・ 成形研削、円筒研削、内面研削等の事業活動を通し、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を策定し継続的な改善に努めます。
- 3・ 事業活動に関連した環境に対する法律・規制を遵守します。
- 4・ 環境方針を全従業員に周知させ、環境に対する意識の向上に努めます。
- 5・ 環境コミュニケーションとして、環境活動の内容を広く公表し地域社会に貢献します。

制定日：2013年9月1日

株式会社アミイダ

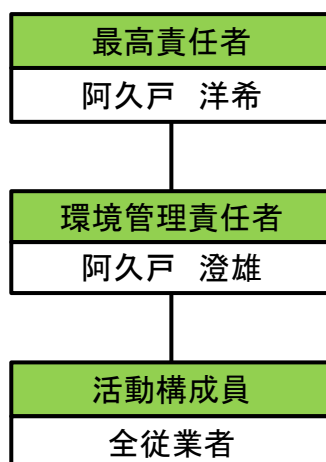
代表取締役 阿久戸洋希

2023年9月1日 見直し



③. 実施体制

当社のEA-21(エコアクション)を運用するための組織を下記の通り定める。



役職名	職 務
EA最高責任者 代表取締役 阿久戸洋希	①環境方針の制定 ②環境管理責任者などの任命 ③EA-21の運用、維持、管理に必要な資源(人材、資金、設備、技術、情報)を準備する ④全体の取組状況の評価と見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する
環境管理責任者 阿久戸澄雄	①環境への負荷と取組の自己チェックを実施し、CO2、廃棄物排出量及び総排出量及び化学物質使用量を把握し、達成状況と実施状況の評価を行い、必要に応じて是正処置を指示する ②最高責任者が行う全体の取組み状況の評価と見直しのために必要な情報を提供する ③環境関連法規や条例等を見直し、遵守状況を環境関連法令等一覧表にまとめる ④環境目標、環境活動計画策定、業務点検評価と業務改善 ⑤環境教育、訓練記録の維持管理 ⑥目標及び計画について社員に周知徹底する
EA-21活動構成員 全従業員	①環境管理責任者を補佐し、環境活動の実務全般を取扱う。 ②環境方針の理解と環境活動への取組重要性を理解する。 ③自らが、積極的に環境活動へ参加する。

④. 環境実績

当社は8月決算につき、すべての目標値及び実績値を8月決算に合わせて作成しました。
実績値は2022年9月～2023年8月までとし、環境負荷状況を下記にまとめました。

1. 環境負荷の状況

項目		2018年度(32期) (基準年度)	2020年度(34期)	2021年度(35期)	2022年度(36期)
項目	単位				
二酸化炭素排出量	kg-co2	293,686.35	137,034.61	156,748.82	143,231.30
電力排出量	kg-co2	260,219.12	113,060.75	133,871.62	121,921.28
化石燃料	kg-co2	30,487.12	23,462.16	22,877.20	19,689.42
ガソリン排出量	kg-co2	363.78	0.00	0.00	98.04
軽油排出量	kg-co2	2,086.62	0.00	0.00	1,045.80
灯油排出量	kg-co2	529.71	511.70	518.46	476.76
LPG排出量	kg-co2	7.92	3.96	3.52	3.96
廃棄物排出量(汚泥)	t	5.04	10.40	5.60	8.17
廃棄物排出量(排油)	t	379.00	328.50	249.50	259.50
水道水使用料	m				

(注) 二酸化炭素排出量の計算に用いた電力会社の排出係数

基準年は0.56を使用、電力会社変更に伴い2020年度からは0.432を使用

2. 環境実績

(注) 基準年度は2018年度と致します。

(注) 削減率の比較の計算は売上金額で割った物とする。(／億円)

項目			2018年度	2022年度	削減率	確認
二酸化炭素	排出量	kg-co2	128,689.71	84,253.71	34.5%	○
電力	排出量	kg-co2	114,131.19	71,718.40	37.2%	○
化石燃料	排出量	kg-co2	13,371.54	11,582.01	13.4%	○
ガソリン	排出量	kg-co2	159.55	2.33	98.5%	○
軽油	排出量	kg-co2	915.18	4.81	99.5%	○
灯油	排出量	kg-co2	232.33	152.65	34.3%	○
LPガス	排出量	kg-co2	3.47	2.33	32.9%	○
廃棄物排出量(汚泥)	排出量	t	2.21	4.81	-117.4%	×
廃棄物排出量(排油)	排出量	t	166.23	152.65	8.2%	○
水道水	使用量	m				

3. 担当者の実績確認

- 電力料金の高騰によるエコ活動の全社取り組みの効果で、全員の意識の向上が見られた
- 新規取引先配送によって自社便を使用しているので軽油の使用量は微増、
- 電気料金の高騰により冬季(12月～3月)暖房を灯油と電気併用に切り替えた。
- 社内加工機の研削液の交換頻度を年二回にした。

⑤. 環境目標

1. 環境目標(中期)
 当社は毎年、以下の各項目について削減目標を掲げ、環境改善活動を推進します。
 (注)基準年度は2018年度と致します。単位億円当たり

項目			単位	基準年度 2018年度 (32期)	実績					目標				
					2020年度 (34期)	削減 率 (%)	2021年度 (35期)	削減 率 (%)	2022年度 (36期)	削減 率 (%)	2023年度 (37期)	目標 (-%)	2024年度 (38期)	目標 (-%)
二酸化炭素		排出量	Kg- Co2 /億円	128,809.80	101,128.08	21.5	107,362.21	16.7	84,253.71	34.59	123,657.41	4	122,369.31	5
化石燃料	電力	排出量	Kg- Co2 /億円	114,131.19	83,748.70	26.6	91,692.89	19.7	71,718.40	37.16	109,565.95	4	108,424.63	5
	ガソリン	排出量	Kg- Co2 /億円	13,371.54	17,379.38	-30.0	15,669.32	-17.2	11,582.01	13.38	12,836.68	4	12,702.97	5
	軽油	排出量	Kg- Co2 /億円	159.55	2.33	98.5	0.00	100.0	2.33	98.54	o	4	0.00	5
	灯油	排出量	Kg- Co2 /億円	915.18	4.81	99.5	0.00	100.0	4.81	99.47	o	4	0.00	5
	LPガス	排出量	Kg- Co2 /億円	232.33	183.11	21.2	355.11	-52.8	152.65	34.3	223.04	4	220.71	5
	廃棄物排出量 (汚泥)	排出量	t /億円	3.47	2.93	15.7	2.41	30.6	2.33	32.94	3.47	現状 維持	3.47	現状 維持
廃棄物排出量 (廃油)	排出量	t /億円	2.21	7.70	-248.3	3.84	-73.5	4.81	-117	2.21	同上	2.21	同上	
水道水	使用量	m ³ /億円	166.23	243.33	-46.4	170.89	-2.8	152.65	8	166.23	同上	166.23	同上	
化学物質の取 り扱い		SDSの確認、保管												
本業での取組	不適合	件	101	74	27	70	5	176	-151	品質目標参照				

- 目標達成のための方策、次年度への取り組み
- ・品質会議(月一回)を行い、不適合、クレームの総量の削減
 - ・スキルマップを使用してスキル向上を行い、ムリ、ムラ、ムダの削減活動
 - ・3Sの推進（ボトムアップ活動）
 - ・朝礼を通じての温度調節や廃棄物処理の共有を行い、全社員のエコ意識の向上
 - ・化学物質については使用量が少量なので、適切な保管を目標とする

⑥. 環境法規制等一覧表

会社名: 株式会社 アミダ

作成日: 2013年 9月 1日
改訂日: 2018年 9月 3日



N	法律・条例 その他の名称	要求事項	該当施設 用項目	遵守チェック			備考
				適否	チェック 日	確認者	
1	自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	事業者は、事業活動に伴う自動車NOx・PMの排出抑制のために必要な処置をとること(法4条)	社有車自動車の排出ガス	○	2022年 9月1日	澄雄	
2	水質汚濁防止法	1. 特定施設(令1、別表第1) 2. 排水を排出するものは、排水口における排水基準に適合しない排水を排出してはならない(法12) 3. 県知事に設置・変更・廃止・承継などの届出(法5、10、11) 4. 特定施設の事故時の措置(法14の2) 5. 排水又は、地下浸透させるものは、汚染状態を関し測定し、結果を記録しておかなければならな	該当する施設はない	○	2022年 9月1日	澄雄	
3	浄化槽法	1. 新設又は変更時に届出(法5) 2. 保守点検の技術上の基準を遵守すること(法8条施行規則第2条) 3. 年1回定期検査を受ける(法11) 4. 清掃の技術上の基準を遵守すること(法9条施行規則第3条)	浄化槽(事務所、工場側)	○	2022年 9月1日	澄雄	
	騒音規制法	1. 騒音規制法における特定施設(法2施行令1条別表1) 2. 特定工場において発生する騒音の規制基準(法5) 3. 市町村に特定施設の設置・変更・廃止・継承などの届出(法6)	・騒音地域指定、太田市告示第141号平成19年4月1日 ・騒音規制基準、太田市告示142号平成19年4月1日 ・圧縮機は7.5Kw以上に該当	○	2022年 9月1日	澄雄	
4	振動規制法	1. 振動規制法における特定施設(法2施行令1条別表1) 2. 特定工場において発生する振動の規制基準(法5) 3. 市町村に特定施設の設置・変更・廃止・継承などの届出(法6)	・振動地域指定、太田市告示第144号平成19年4月1日 ・振動規制基準、太田市告示第145号平成19年4月1日 ・圧縮機は7.5Kw以上に該当	○	2022年 9月1日	澄雄	
5	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	1. 事業者の責務(法3条) 2. 事業者はその廃棄物を自ら処理しなければならない(法11条) 3. 産業廃棄物保管基準 4. 産業廃棄物管理票公布状況報告書(法12の3第7項) 5. 産業廃棄物処分業許可書(法14第6項) 6. 産業廃棄物の収集運搬及び処分委託基準(施行令第6条の2)	1. 産業廃棄物保管場所の整備 2. 産業廃棄物の種類・量表示など 3. マニフェスト管理	○	2022年 9月1日	澄雄	
	PRTR法	1. 事業者の責務(法4条) 2. 第1種指定化学物質の排出量などの把握及び届出 (法5条)	SDSの管理	○	2022年 9月1日	澄雄	
6	地球温暖化対策の推進に関する法律	電気事業者別実排出係数及び調整後排出係数一覧表 係数(0.432)		○	2022年 9月1日	澄雄	
7	フロン排出抑制法	1. 設置環境・使用環境の維持保全 2. 簡易点検・定期点検 3. 点検・整備の記録作成・保存	簡易点検 (1/3ヶ月)	○	2022年 9月1日	澄雄	

2. 違反、訴訟等の有無
株式会社アミダにおける環境関連法規制の違反・訴訟等はありません。
また、違反・訴訟等に関する指摘は、過去3年間ありません。

⑦. 環境活動の取組み計画と評価

◎よくできた ○できた △まあまあできた ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
★二酸化炭素排出量の削減		
① 休憩時間の工場内の照明電気のOFFを行う。	◎	これからも継続して下さい
② 1時間以上不在時のパソコンの電源を切る	○	伝票用のパソコン以外は達成
③ 夏季の冷房運転は、冷房運転の設定温度を28℃、暖房運転は20℃以下	○	エアコン、ストーブの温度設定継続して下さい
④ 省エネ電気具購入の検討	◎	これからも継続して下さい
⑤ ムリ、ムダ、ムラの無い運転の実施	◎	これからも継続して下さい
⑥ 自動車使用時のエコドライブの推奨	◎	これからも継続して下さい
★廃棄物の削減		
① 社内配布、保管不要のコピー用紙は裏紙を使用する	◎	これからも継続して下さい
② 廃棄物分別の推進	◎	これからも継続して下さい
③ ウェス、手袋使用の節約	◎	これからも継続して下さい
★本業に関する目標		
① 工程内不適合品、クレームの減少で、廃棄物削減	○	削減するよう努めて下さい
② 5S活動による生産性向上	△	来期も頑張ってください
★工場敷地内の緑化推進		
① 工場敷地内の緑化に努める	◎	これからも継続して下さい

⑧. 代表者による全体評価と見直しの結果

一年間の総括

これまでの約3年の間、新型コロナウイルスが蔓延した影響で、我々の行動力も考え方も閉鎖的で小さくなってしまったと感じています。固定概念にとらわれず積極的に行動し、強い決断力で大胆に物事に向かうことを掲げ、みんなで積極的に行動していきましょう。利害関係にある「共に働く仲間」、「取引先」、「仕入れ先」などにも積極的にコミュニケーションをとり、提案や意見を出しながらお互いがよくなる方法を模索していくのです。

これには、積極的な行動力と強い決断力。そして大胆さが求められますが、そこに遠慮はいりません、どんどん関わっていきましょう。ですから、後でいいと絶対に思わないでください。あとでいいことなんてありません。

物事にはベストなタイミングがあります。求める成果を得るためにも、タイミングを逃すことなく、また躊躇することなく「今だ」と思ったら最速で最高意思決定と決断できるように、日々励んでください。

何か提案や意見をするとき、相手が誰であろうと、その人を思いやる気持ちと自分の意見を押し付けることのないようにしてください。

会社の仲間と一致団結して綱を引くときは、最高のパフォーマンスを発揮して全員一緒に同じ方向に綱が引けるようにお願いします。